



ブルキナファソで北海道大学などと協働で進めている衛生システム改善の取り組みを視察する影山さん。現地の研究員から説明を受け、活動の進捗について確認する

### 生活の原点である「水」を 持続的に享受できる仕組みづくりを

JICAブルキナファソ事務所  
水と衛生分野の協力を担当する  
影山正さん。「水は生活の原点」  
という彼は、給水施設を作ると同  
時に、それを持続させるためのシ  
ステムづくりに取り組んでいる。

#### 初

めて「開発途上国」について意識した  
のは、大学時代、タイから来たJICA  
A研修員を連れて東京を案内するというボラ  
ンティアに参加した時でした。彼らと過ごし  
たのはたった一日だったのですが、その後も交  
流は続き、一年後、彼らを訪ねて初めてタイ  
に行くことになったのです。

しかし、久々の再会を楽しみに訪れたタイ  
で待っていたのは、物乞いをする子どもやスラム  
など、これまで見たこともないような世界  
でした。今でもはつきりと覚えているのが、  
乗り合いバスの中で私の持っているガムをじつ  
と見つめるポロポロのシャツを着た男の子。一  
枚差し出すと「ありがとう」と言って受け取  
り、隣に座っていた二人の弟と分け合いながら、  
大事そうに口に入れていました。

生まれた国が違うだけで、人生が大きく変  
わってしまう現実。タイの友人たちと過ごし  
ながら、なぜこんなにも生活レベルが違うのだ  
ろうと…。その根本にある問題を探り、解  
決していくような仕事がかげになりました。

最初には配属された大阪国際センター(当時)  
では、研修員受入事業を担当しました。関  
西地区にある研究所、病院、大学などが提  
供できる技術と相手国のニーズのマッチングを  
図るために奔走する日々でしたが、日本で技  
術や知識を学び、生き生きとした顔で故郷  
に帰っていく研修員を目にする時、大きなや  
りがいを感じたのです。

その後、外務省やパリにある国際機関一經  
済協力開発機構」の日本代表部に出向した  
のですが、世界各地の支援国の動きや世界  
の中でJICAの位置付けを客観的な立場  
でとらえることができ、JICAへの期待の大  
きさを再確認する貴重な機会になりました。  
そして、こう感じるようになったのです。「J  
ICAの援助の現場での仕事も経験したい。  
できれば援助を最も必要としているアフリカ  
で」。そうした思いがセネガル事務所への赴任  
につながりました。

セネガルでは水分野を担当することにな  
り、この時から「アフリカ」と「水」に関連する  
仕事に多く携わるようになりました。昨年3  
月からは2回目の西アフリカ、ブルキナファソ  
に赴任し、引き続き水分野の事業を担当し  
ています。

他の援助機関もこの分野への支援を展開す  
る中で、JICAはハード、ソフトの両輪でき  
め細やかな支援を行っていることが評価され  
ています。日本が井戸を建設した村で、「あ  
りがとう」という言葉を聞くと、喜びと同時  
に、多くの人々の命を支える事業を担ってい  
るのだと気が引き締まります。

「中央プラトー地方給水施設管理・衛生  
改善プロジェクト」(8ページに関連記事)で  
は、住民参加型で井戸の維持管理、衛生環  
境の改善に取り組んでいます。新しく井戸を  
掘っても、以前掘った古い井戸のポンプが壊  
れていく現実があるのです。給水率の向上は、



JICAブルキナファソ事務所

影山 正

KAGEYAMA Tadashi

大学卒業後、1994年にJICA  
に就職。大阪国際センター、  
研修事業部(いずれも当時)を  
経て、外務省経済協力局(当  
時)、経済協力開発機構  
(OECD)日本代表部(パリ)に  
出向。セネガル事務所、地球  
環境部、政策研究大学院大  
学(国内長期研修)、アフリカ  
部に配属後、2011年3月から  
現職。



給水施設の維持管理について、中央プラトー州  
のすべての市の代表者が経験を共有する会議  
に出席する影山さん(左から2人目)

新しい施設を作ると同時に、既存の施設が  
壊れないように維持管理しなければ達成でき  
ません。プロジェクトも終盤を迎えた今、  
JICAの支援が終了した後も現地の人々  
の手で継続できるように、水利用者組合、  
行政、修理業者の育成、分かりやすいマニ  
ュアル作成など、しっかりととした仕組みづく  
りを進めているところです。

これまではアフリカで経験を積んでしま  
したが、今後は、日本の協力によってすでに大  
きな経済成長を遂げているアジアがアフリカ  
を支援する「アジア・アフリカ協力」の促進  
に貢献したいと考えています。実際にアジア  
の何をアフリカで生かせるのか、どのような  
枠組みがあればアジア・アフリカ間の協力が  
促進されるのかなど、アフリカでの経験を有  
する一人として、両地域の懸け橋となるよう  
な仕事に携わりたいと思っています。